

競技別実施要項【バドミントン】

1 種目

学校対抗戦 男子・女子 個人対抗戦 男子・女子

2 日程・会場（会場は予定）

種目	日程	会場	
		男子	女子
学校対抗戦	6月3日（土）	安佐南区 スポーツセンター	中区 スポーツセンター
	6月4日（日）	広島城北高等学校	基町高等学校
個人対抗戦	6月10日（土）	呉市総合体育館オークアリーナ	
	6月11日（日）	呉宮原高等学校	広高等学校

3 参加資格・参加制限

(1) 「第70回広島県高等学校総合体育大会要項 2参加資格」に準じる。

【第70回広島県高等学校総合体育大会実施要項 2参加資格】

- (1) 選手は、広島県高等学校体育連盟規約第5条に規定する学校に所属する生徒で、本競技実施要項により、大会の参加資格を得たものに限る。
- (2) 年齢は、平成10年4月2日以降に生まれたものとする。
ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での同一競技出場は1回限りとする。大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技の参加を認める。「出場とは登録やエントリーではなく試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。」
- (3) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (4) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会の参加を認める。
- (5) 転校・転籍後6ヶ月未満のものは同一競技への参加を認めない（外国人留学生もこれに準じる）ただし、一家転住などやむを得ない場合は、県高体連会長の許可があればこの限りでない。
- (6) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (7) 各競技専門部の特質により、別に定める参加資格をもうけることがある。
- (8) 参加資格の特例による参加については、広島県高等学校総合体育大会開催準備要項のとおりとする。

- (2) 学校対抗戦のチーム編成は1校1チーム選手5～7名、マネージャー1名以内とする。ただし、マネージャーは選手を兼ねられない。
- (3) 監督・コーチ・選手・マネージャーは、平成29年度(公財)日本バドミントン協会に会員登録を完了した者とする。

4 使用シャトル

- (1) 平成29年度(公財)日本バドミントン協会第一種検定合格球を使用する。
- (2) シャトルは各チーム3個を持ち寄りとし、受付時に本部に提出する。なお、1試合につき5個を本部で用意するが、それ以上は双方の持ち寄りとする。

5 競技及び採点方法

- (1) (公財)日本バドミントン協会の競技規則及び審判規定により行う。
- (2) 学校対抗戦の競技は2複3単(複1・複2・単1・単2・単3)で行い、何れかが3勝した時点で試合を打ち切る。ただし、運営上対戦順序を変更することがある。なお、単1が複を兼ねることはできない。
- (3) トーナメント法による。

6 組み合わせ

- (1) 日 時：5月9日(火)13:30より
- (2) 会 場：安佐南区民文化センター大会議室(広島市安佐南区中筋1-22-17)
- (3) 参加者：各校監督

7 備考

- (1) 選手の服装は上衣下衣とも(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。
- (2) 各選手はゼッケンを背面につけることを原則とし、校名及び姓を明示すること。ゼッケンは白地に黒または紺で記入する。
- (3) 本大会は中国高校選手権大会および全国高校総体の県予選を兼ねる。
- (4) 個人対抗戦は県高校バドミントン個人選手権大会として、中国高校選手権大会及び全国高校総体の県予選を兼ねて6月10日(土)、11日(日)に行う。要項は別途通知する。
- (5) 個人対抗戦の申し込みは各地区委員長が一括して行う。
- (6) 学校対抗戦の申し込みは各校ごととし、競技委員長宛に申し込むこと。(個人対抗戦要項を参照)申し込みには選手5~7名を登録すること。(オーダーは当日試合ごとに提出)なお、登録選手の変更があるときは、6月3日の監督会議にて申請すること。
- (7) 学校対抗戦の1日目は、男女ともベスト16を決定する試合まで実施する予定であるが、時間によってはこれ以前の試合で打ちきる場合がある。
- (8) 敗者審判制で運営しているため、試合に負けた場合は必ず審判を務めること。なお、1日目各コート最後の試合の敗者は2日目の審判に当たるので注意すること。